

令和9年度 開校50周年を迎えます

榛松中だより

～笑顔があふれる 学びと感動のある榛松中学校～

令和8年10月号

学校教育目標

知性と創造性に富む生徒
豊かな心と思いやりのある生徒
健康でたくましい生徒

川口市立榛松中学校

〒334-0062

埼玉県川口市榛松2丁目10番1号

電話 (048) 284-2414

※教育活動の向上のため、通話内容の録音対応をしております

記憶のメカニズム

校長 飯塚 稔

2学期が始まり、早くも1か月が経過しました。今年の9月は雨が多く、「残暑」というよりも「秋の長雨」の印象が強いのではないのでしょうか。室内での教育活動が増え、生徒たちも少し物足りなさを感じているようでした。さて、暦は10月、令和8年度の教育活動も折り返し地点となります。今月の体育祭を皮切りに大きな行事が続きます。後半も生徒たちのエネルギーが存分に発揮できるよう、引き続き努めてまいります。

先に行われた市民体育祭（新人戦）では、長雨で屋外競技の延期が続き、例年以上に長い大会期間となりました。1・2年生の新チームにとって初の公式戦は大きな緊張感でしたが、夏季休業中の成果を発揮しようと全力で挑んでいました。9月末時点で未終了の競技もありますが、女子バレーボール部が準優勝で県大会へ、女子ソフトテニス部の個人戦ペア1組がベスト8入りで県大会へ、団体戦がベスト4と見事な成績を収めています。すでに大会を終えた男女ハンドボール部を含め、県大会でのさらなる健闘を願っています。始動から2～3か月という短い準備期間の中、思うようにいかない場面もあったはずですが、しかし、試合での経験から得た「達成感」と「悔しさ」は、必ず次の挑戦へのエネルギーとなります。生徒たちには今後の練習で「基本技術の精度向上（極める）」「逆境に立ち向かう強いメンタル（闘争心）」を身につけてほしいと願っています。連日、温かい応援をいただいた保護者や地域の皆様には、心より感謝申し上げます。

さて、学校では日々、授業を通じて生徒の知識や技能、考え方等を高めています。定期テストの結果に一喜一憂する姿は今も昔も変わりません。本校の生徒は授業に取り組む姿勢や授業内の理解度は高いように感じますが、「テストになると解けない」という課題も見られます。つまり「定着」が鍵となります。人の記憶は、パソコンのように簡単に保存できるわけではありません。インプットやアウトプットを繰り返し、脳内の神経回路が強くなることで記憶として定着すると言われています。脳は新しい情報を一時的に保管しますが、ただ読んだり聞いたりしただけの情報はすぐに消えてしまいます。長期記憶にするには、思い出す負荷や適切なタイミングでの復習など、脳への適度な刺激が不可欠です。**「短時間で身に付けたものは忘れるのも早い。逆に、時間をかけて身に付けたものはなかなか忘れない。」**生徒たちにも、こうした記憶のメカニズムを理解し、日々の学習方法の改善や成果に繋げてもらいたいと期待しています。

最後になりますが、10月9日（金）には本校の体育祭を開催いたします。3年生の進路活動やクラブチーム活動等との重複を避けるとともに、教職員の働き方改革の一環として、今年度より平日開催といたしました。半日の日程ではございますが、生徒たちが全力で競技に取り組む姿を、ぜひ直接ご覧ください。皆様のご来校を、教職員一同、心よりお待ちしております。